

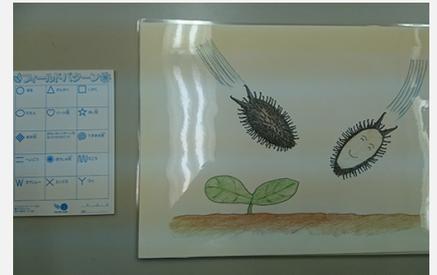
## 幼小ジュニアプログラム

幼稚園・保育所の幼児、小学校低学年の児童向けの野外のプログラムです。団体で来館される場合に、事前に予約をしてご利用下さい。子ども達の活動に必要なものの中には有料のものもありますので、事前に博物館にご相談ください。

- このプログラムの指導者は団体引率の先生です。不明点がありましたら事前に博物館職員と進め方やポイントなどを打ち合わせすることができます。(下見の際にお伝えすることもできます)
- 基本的にパッケージになっているので、持参するものではありません。
- プログラムに必要なものの受け渡しは、当日、インストラクターズルームで行います。実施する際にインストラクターズルームにお越しください。

### 森で遊ぼう

ねらい	自然の中にもいろいろな形や模様があることに気づく。 また、そのことを通して、植物や動物への興味を高める。
使用場所	どんぐりの森(遊具がある夢の広場のすぐとなりです)
活動時間	約30分
内容	カードに印刷されたさまざまな形や模様を雑木林の中で探して見つけたものに印を付ける。 最後にどんなものを発見したか、お互いに発表し合う。
内容物	森は楽しい(紙芝居)、フィールドパターン(カード)



カード（フィールドパターン）と付属の紙芝居



博物館野外で見つけたものを発表

# 森であそぼう

## 活動のねらい

- ・野外の雑木林を利用し，自然の中にかくれたいろいろな形や模様気づかせ，自然に対して興味・関心を持たせる。

## 活動時期

4月～3月  
通年

## 活動場所

雑木林

## 活動時

30分

## 必要な道具

カード（フィールドパターン）  
紙芝居（森は楽しい）

## 活動の流れ

活 動	留 意 点
1 雑木林に行って全体の様子を知る。 ・林の中にはたくさんの木や葉がある。	○雑木林にはどんなものがあるかを想像させる。 ○身近な雑木林にいろいろな動物や植物が生活していることに気づかせる。
2 森や林の中にあるいろいろなかくされた形や模様を見つける。 ・カードに示された形や模様を探しに行く。	○フィールドには，いろいろな形や模様があることに気づかせる。 ○みんなで集める形や模様を提示する。
3 どんなものが見つかったか，みんなで確かめよう。	○ものの見方の例を示す。 ○自分の集めたものばかりでなく，友達の集めたものにも目を向けさせたい。

## 評価の観点

- ・ひとりひとりが楽しく活動し，雑木林のようすに興味・関心をもつことができたか。